## 別記様式第6

公示価格

②変動率 年間 0.0% 半年間

円/mឺ

%

## 鑑定評価書(令和 3 年地価調査)

令和 3年 7月 5日 提出

																八三	E子(	都)	5 <b>–</b> 1	10	宅地-1	
基準地番号				提出	出先	所属:	分科会名	<b>名 業者名</b> さとう				不動産鑑定士事務所										
八王子(都) 5-10					東京	京都	多摩第	育7分科会	氏名 不動産				崔鑑定士 佐藤幸秀			; E					印	
鑑定評価額							16, 8	00,000	円 1㎡当たりの価格				<u> </u>						141,000 円/㎡			
1	基本	的事項																				
(1)	価格	侍点	ŕ	令和 3年 7月			1 1 日 (4) 鑑定評価			令和 3年			平 7月 2日		(6) [令和 3年				115,		円/m <sup>*</sup>	
(2)実地調査日			令和 3年 6月			В	(5) 価格の	格の種類		正常価格				線価		格線価又は倍率			倍			
			更地としての鑑定												倍-	倍率種別						
		評価の条件																				
(1)	_	it 画領の次と i在及び地番i	の理由の要旨 並びに 八王子市横川町16番3											②地科	吉	1	19	(9	9法令上の規制等			
基準		「住居表示」等		, (,	1.00.1.	уч , т о ш о								(m²)		-		)	,,,,		20.17.1	
準地	③形状		④敷地の利用の現況			⑤周i 状況	辺の土地の	の土地の利用の					⑦供給 処理施	⑧主要な交通施 接近の状況			ひとの		近商 (80, 200) 準防			
													設状況						高月	重)		
		1:3	店舗兼共同住宅 S3		5	店舗、	事務所、 昆在する	、住宅 路線商	北11.2m都道		首	水道ガス		西八王子 1.2km				(	(その他)			
					業地	域					下水							(90, 200)				
(2) ①筆		5囲	東 12	20 m. Ē	西 4	0 m.	南 2	20 m、北	;	30 m	2根	票準的	使用	中低層	の店舗	)店舗住宅(		也				
近隣	③標準的画地の		/	約	8.0	m、奥	行 約	15	15.0 m.		規模		120 ㎡程度、			形状 長方形						
近隣地域	④地域的特性		特記	特記す	でき事	項はな	い。	街	11.2	1. 2 m都		交通	西八 1.2k	王子駅北西 m			法令			商(90, 200) 準防 寯度(2種)		
-50			事項	! ! !				路				施設					規制					
	0												1					1				
	(5)地	地域要因の 子来予測	規模や用に住宅系	規模や用途の多様化した都道沿道地域で、短期的には特に地域要因に変化に に住宅系用途への移行が進むものと予測する。												けのま	まの推	1移で	あるか	ら、今	後徐々	
(3) 最有効使用の判定 中低				低層の店舗住宅併用地							1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			基準地の ない								
(5)鑑定評価の手法 の適用			取引事例比較法			比準価格			142,000 <b>円/㎡</b>				個別的要因									
			収益還元法		収	収益価格			70,300 円/㎡													
			原価法		積	積算価格			/ 円/m													
			開発法		開	開発法による価格			/	/ 円/m <sup>2</sup>												
(6)市場の特性			性を有す 型コロナ	└る事業 └ウイル	者や不	動産業 症の影	者による 響は限定	店舗や別 的で、均	P開発目的の需要もある7 地価は概ね弱含みでの材			るが の横	ろが 小規模開発による				住商混在地域の存する圏域。地 建売住宅への用途転換も多い。 道沿いで利用目的や画地規模等 格帯である。					
		i格の調整 E及び鑑定 iの決定の	益物件のが形成さ	)採算確 (れてお	保がやり、収	がやや困難な地域である 収益価格の地価への			が、郊外の街道沿道地域 5。現在は賃貸目的の新規 5響は小さい。適正に試算 この検討を踏まえ、上記の				地取引	は少なを反映	く、自	用目 上進価	的の取 格を重	対別が	爿が中心とな		て地価	
(8)	- / <del></del>	① □代表標			地 ②	時 点	3標準	生化 ④	地域要	5個	別的		<b>才象基準</b>		標	標街			地	街路	+3.(	
公示	規準とした	標準地番号				修正	補正		因の比 較			0.	)規準価 (円/r	""   Þ	记	学 交 化 環		0.0	域 要 因	交通 環境		
価格し	1		八王子 5-6		0				料	LL.	#X		(□/ 1	117	補正			0. 0	囚	<sup>環境</sup> 行政		
を 1		公示価格				100	] 100		100 119. 5	_				000		行政		0.0	₹	その他	0.0	
(9)								_				©÷	4 色 甘 油	i ∔ıh	+275	その		0.0	11h	<b>4:0</b> ⁄2	0 (	
指力	ָיי טי	① 指定基準	<b>地番号</b> E子(都) 5-12		_	時点 修正	③標準 補正		地域要 因の比	<b>⑤</b> 個 要	別的		付象基準 D比準価		標準化	街 交			地 域	街路 交通		
基基	Ď Ž	八日			12				詨	比較			(円/r		補		環境 (		安			
指定基準地	) 対	前年指定基	準地の価格		[	99. 4	] 100	)	100	[ 10	00 ]				正	画 行	_	2	行政 その他			
		171,000 円/m²			า้ -	100	[ 100	] [ 0	121. 2			-		000		その		0. 0	•		, 0.0	
/1.5		①-1対象基準地の検討 ■継続 新規						[—1	 - <b>般的要因</b> ] 新型コロナ が 市内商				ウイル 業地の	症の景全体が	多響に 気に押	引き網ね構造	たき留け	意する	5必要	がある		
(10) 対 <del>2</del>	ξÀ	■継続 <u></u> 新規 前年標準価格 141,000				′m¹	(3		が、市内商業地					- ப ш (	<b></b>  T*H:	J 1 − 13/L	,~ <sub> </sub> ,,	~• /J:	p,\\\	시까미	( U) · W	
象基準地	年標準価格等な	①-2基準地点)であるは	→ 111,000 →2基準地が共通地点(代表標 i)である場合の検討 → 代表標準地   標準地				同一地 格 別一地 格 別 成	変動[地址]	也域要因] 商業性のやや低い陣馬街道沿道 みられない。地価は概ね弱含み											変化は		
の領前が	等 か	標準地番号				_ 四 / m		[個5	<b>固別的要因</b> ] 個別的要因に変化はない。													